

# 明治神宮外苑再開発に係る 記者会見及び現地視察について

日時：3月29日（水）

## ○記者会見@日本記者クラブ

※現地集合…13時50分厳守 <https://www.jnpc.or.jp/outline/access>

14時～14時30分：記者会見

14時30分～50分：質疑 ※その後、視察参加者は各自移動

### 【会見詳細】

■会見名：神宮外苑の再開発に伴う樹木伐採の回避と話し合いの場の創出

■幹事：（一社）日本エコモス国内委員会

■会合の内容：

神宮外苑再開発事業が、三井不動産株式会社（代表）により進んでおり、2022年3月、東京都により再開発等促進区を導入する地区計画が決定され、都市計画公園が3.4ha削除されました。これにより、風致地区で建築の高さが15mに制限されていた地区に、超高層ビル（185m、三井不動産）が建ちあがり、隣接する（株）伊藤忠商事のビルも190mの超高層ビルの建築が可能となりました。風致地区内で守られてきた、約1000本以上の歴史的樹木が伐採される計画がすすめられています。

神宮外苑は、近代日本を象徴する文化的遺産であり、日本エコモス（ユネスコの世界遺産委員会の諮問機関、国際NGO）は、この間開発を再考するため、様ざまの提言、要請、環境アセスメントの問題等の指摘を行なって参りました。

しかしながら、環境影響評価審議会での審議が継続中であるにも係わらず、2023年2月17日、東京都は施行認可を発し、同日、3000本の樹木伐採が許可され、現在、対象地は仮囲いが行なわれ、伐採・移植に向けた準備が進められています。

今回の会見は、再開発の見直しを要請している超党派の国会議員連盟、日本エコモス国内委員会、地元の小学校のPTAの皆様を中心とする市民団体が共同で行なうもので、①外苑問題の構図②何故、都市計画公園に超高層ビルが建設されるのか？③環境影響審議会の審議経過と課題、④樹木伐採と生態系の破壊、⑤不適切な情報開示と市民の安全性の確保（計画が地域住民に知らされていない、非常時の避難、群集津波等）等をふまえて、今後の展望について述べます。

■登壇者（司会：日本エコモス国内委員会委員長 岡田保良）

国会議員連盟（代表 船田元衆議院議員、阿部知子衆議院議員、篠原孝衆議院議員）

日本エコモス国内委員会（委員長 岡田保良、理事 石川幹子）

明治神宮外苑を子どもたちの未来につなぐ有志の会（代表 加藤なぎさ）

■参加想定人数 約40名

## ○現地視察

15時30分～16時30分 神宮外苑で現地説明

コーディネーター（ご説明）：石川幹子先生

参加予定議員（予定）：船田元衆議院議員、阿部知子衆議院議員、篠原孝衆議院議員  
他、議連メンバー

緊急連絡先：船田事務所、阿部事務所、日本イコモス石川 090-3102-7211

携帯の番号を入れたほうがいいのではないかと思います。

### 【視察内容】

15時30分～16時00分：国立競技場前広場～建国記念文庫の森～芝生広場

（霞ヶ丘門は、工事のため、迂回しないと近くにいけないので、国立競技場から見る。

白いボードで囲われてしまい、樹木は、全くみることができなくなりました）

芝生広場から、会員制テニスコートの建設により伐採される大イチョウをみる。

16時00分～16時30分：イチョウ並木、衰退している Shake Shack 前のイチョウを説明。

秩父宮ラグビー場等について説明。

他、都営アパート等、新野球場の騒音（基準以上）について説明

<視察ルート案内図>



- ①国立競技場（建国記念文庫の森の前）の広場に集合。霞ヶ丘門は、工事中で、迂回となりますので、時間の関係から、この広場から見るだけとなります。市民の皆様への御説明は、すでに行っておりますので、今回は、国会議員連盟の皆様にご正確に御説明したいと存じます。
- ②建国記念文庫の森を周りからみます。当該区域の貴重な極相林（常緑広葉樹林）です（石川説明）。第二球場は解体が始まりました。白い鉄板で囲いがされ、樹木はみることができなくなりました。巨樹はすべて伐採され、移植は小さな樹木のみです。
- ③道路沿いに移動し、創建時以来の豊かな樹林をみます。会員制テニスクラブの整備により、伐採される予定の大イチョウなど、歴史的樹木の説明をします（石川説明）。
- ④青山いちょう並木の説明を行います。レストラン前の枯損しているイチョウを実査。環境影響評価書では健全（A評価）として報告されていますが、日本イコモス、複数の利害関係のない樹木医の診断は、全員、D（著しく不健全）評価となっています。秩父宮ラグビー場のイチョウを実査します。